

令和3年度 小施策評価シート

作成日	令和3年4月20日	作成課	人権男女共同参画課	作成者	山下 由紀子
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

1. 小施策の位置づけ<Plan>

都市将来像	未来をひらく にぎわいとやすらぎのコミュニティ都市				
政策	01	地域と行政の共働による魅力輝くまちづくり			
大施策	08	人権教育・啓発と男女共同参画の推進			
現状と課題	<p>性的少数者や外国人などの人権に対する社会的関心が高まり、一人一人の違いや個性を認め合う、多様性を理解し尊重する社会の実現が求められています。</p> <p>一方で、インターネット上での人権侵害や、DV(ドメスティック・バイオレンス)、ストーカーによる被害など、人権を脅かす新たな問題も浮上してきており、人権の擁護に対する市民のニーズは高いものと考えられます。</p>				
大施策の基本目標	<p>人権尊重の精神や多様性への理解は深まるよう、人権教育や啓発の取り組みを行うとともに、差別や人権侵害があった場合には、必要な救済措置や再発防止の取り組みを講じ、市民一人一人が安心して幸福を実感できる社会をつくります。</p> <p>また、「男女平等推進センター(アスカラ)」と連携し、家庭・職場・地域・学校などのあらゆる場面において、男女が自己の個性や能力を発揮し、ともに社会に参画できる環境づくりを進めます。</p>				
小施策	02	男女共同参画社会の実現			
小施策の基本目標	男女共同参画に対する市民意識向上のための啓発や、女性の政策・方針決定過程への参画拡大など女性の活躍推進を支援する事業を実施します。				

2. 小施策を構成する事務事業<Do>(詳細は別紙1、2参照)

事業1	男女共同参画審議会運営事業	事業13	
事業2	男女平等推進センター連携事業	事業14	
事業3	男女共同参画市民意識調査事業	事業15	
事業4	男女共同参画啓発・支援事業	事業16	
事業5	DV防止啓発・被害者相談支援事業	事業17	
事業6	男女共同参画苦情処理制度運営事業	事業18	
事業7	男女共同参画基本計画・実施計画進捗管理業務他	事業19	
事業8		事業20	
事業9		事業21	
事業10		事業22	
事業11		事業23	
事業12		事業24	

小施策	01	-	08	-	02	男女共同参画社会の実現
-----	----	---	----	---	----	-------------

収入 (単位:千円)

	令和元年度実績(決算)	令和2年度見込(決算見込)	令和3年度計画(予算)
特定財源	3,368千円	3,434千円	820千円
一般財源	5,361千円	5,331千円	25,390千円
合計(=事業費)	8,729千円	8,765千円	26,210千円

支出 (単位:千円、時間)

	令和元年度実績(決算)	令和2年度見込(決算見込)	令和3年度計画(予算)
事業費	8,729千円	8,765千円	26,210千円
うち人件費	0千円	0千円	15,072千円
(業務量)	0時間	0時間	2,400時間

3. 小施策における客観的成果(主な指標)<Check>

指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:達成値				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市や支援団体などが実施する男女共同参画関連の講座・研修会の年間参加者数	人	25,500	25,500	25,500	25,500	25,500	25,500
			23,743	9,089			
成果の達成原因・未達成の原因と達成に向けた改善点等							
主な関連事務事業	男女平等推進センター連携事業、中学校デートDV防止研修						

4. 小施策の展開<Action>

小施策の目標達成に向けた課題(達成に向けて必要なこと)	男女共同参画や女性活躍に関する研修会や講演会などの参加者の固定化の傾向が見られるため、男女共同参画に関する意識や関心が希薄な人にも参加してもらうことで、参加者の増加と参加者層の拡大を図る必要がある。
小施策の目標達成に向けた取組の方向性(上記課題を解決するために実施すること)	新型コロナウイルス感染症の感染防止に十分配慮したうえでの啓発事業の実施、オンラインなど感染リスクに配慮した方法での開催など、新しい生活様式に沿った事業開催を行う。新たな参加者確保のため、講師選定やテーマ設定など柔軟な発想で企画・運営する。

別紙1 小施策構成事務事業一覧表(事業費、人件費)

小施策		男女共同参画社会の実現				作成課	人権男女共同参画課			計	6名		
職員構成		係長	1名	担当	3名	再任用 PM	0名	再任用	0名	会計年度 任用職員	2名	計	6名
事業 番号	事務事業名	事業区分	上段:総事業費(単位:千円) 下段:特定財源(単位:千円)			事業費、特定財源に関するコメント (主な増減理由等)	上段:左記上段のうち人件費(単位:千円) 下段:業務量(単位:時間)			人件費、業務量、人数に関するコメント (主な作業、増減理由等)	備考		
			R1年度決算	R2年度見込	R3年度予算		R1年度実績	R2年度見込	R3年度計画				
計			8,729	8,765	26,210				15072				
			3,368	3,434	820		0時間	0時間	2,400時間				
1	男女共同参画審議会運営事業	経常事業	170	158	820		0時間	0時間	642				
			0	0	0		0時間	0時間	102時間				
2	男女平等推進センター連携事業	経常事業	6,834	6,868	8,788		0時間	0時間	2,572				
			3,368	3,434	0		0時間	0時間	410時間				
3	男女共同参画市民意識調査事業	実施計画事業	0	0	2,394		0時間	0時間	1,818				
			0	0	0		0時間	0時間	290時間				
4	男女共同参画啓発・支援事業	その他	695	648	1,970		0時間	0時間	1,382				
			0	0	0		0時間	0時間	220時間				
5	DV防止啓発・被害者相談支援事業	その他	977	881	10,075		0時間	0時間	6,548				
			0	0	820		0時間	0時間	1,043時間				
6	男女共同参画苦情処理制度運営事業	経常事業	53	210	1,956		0時間	0時間	1,903				
			0	0	0		0時間	0時間	303時間				
7	男女共同参画基本計画・実施計画進捗管理業務 他	その他	0	0	207		0時間	0時間	207				
			0	0	0		0時間	0時間	33時間				
8			0	0	0		0時間	0時間	0時間				
			0	0	0		0時間	0時間	0時間				
9			0	0	0		0時間	0時間	0時間				
			0	0	0		0時間	0時間	0時間				
10			0	0	0		0時間	0時間	0時間				
			0	0	0		0時間	0時間	0時間				
11			0	0	0		0時間	0時間	0時間				
			0	0	0		0時間	0時間	0時間				
12			0	0	0		0時間	0時間	0時間				
			0	0	0		0時間	0時間	0時間				

別紙2_小施策構成事務事業 各概要		小施策名		男女共同参画社会の実現					
事業番号	事務事業名	事業概要(目標は総合計画の目標年度)							
		目的 【何のためにこの事務事業を実施するのか】 ※根拠法令がある場合は記載すること	直接対象 【誰(何)を対象にこの事務事業を実施するのか】	対象規模 (人数等)	手段 【どのような手段でこの事務事業を実施するのか】	期待される成果 【上記の手段をとることで、誰にどのような成果がもたらされることを期待するのか】	小施策への貢献度 【左の成果をあげるにより、小施策の目標達成にどのような影響を与える(ことが期待できる)か】	貢献度	
1	男女共同参画審議会運営事業	男女共同参画施策・事業について、審議会から意見や助言を受け、男女共同参画基本計画の事業を総合的かつ計画的に推進する。 【根拠法令】男女共同参画条例	男女共同参画審議会委員	10人	人権男女共同参画課が事務局として、委員の日程調整及び審議事項の集約をし、審議会を開催する。開催後、審議結果を報告するとともに、審議会意見を計画や事業内容に反映させるため、関係各課へのフィードバックを行う。	「人権教育・啓発基本指針及び実施計画」の内容充実や進捗状況確認を客観的に行い、事業の改善につなげることが期待できる。	男女共同参画政策の基本である「男女共同参画基本計画」の精査により、事業が改良・改善されることで、時流に即した効果的な男女共同参画推進事業が実施される。	中	
2	男女平等推進センター連携事業	大野城まどかびあ男女平等推進センターは、市の男女共同参画施策の具体的な事業を実施するための施設として設置され、指定管理による運営されている。各事業を効果的・効率的に実施するため連携を行う。 【根拠法令】男女共同参画条例	大野城まどかびあ(男女平等推進センター)職員 人権男女共同参画課職員	24,013人	大野城まどかびあ男女平等推進センターへの指定管理者交付金の交付 男女平等推進センター事業のモニタリング 市と男女平等推進センターとの定例会議による情報交換、意見交換	男女共同参画に対する市民意識向上のための啓発や女性の政策・方針決定過程への参画拡大など女性の活躍推進を支援する事業の着実な実施。	男女が自己の個性や能力を発揮し、ともに社会に参画できる環境づくりが推進されることが期待できる。	高	
3	男女共同参画市民意識調査事業	男女共同参画に関する市民の意識やニーズを正しく把握し、男女共同参画に関する施策をより効果的に推進していくための基礎資料とする。次期の男女共同参画基本計画策定年度の前年度に実施することで、実効性のある計画策定を行う。 【根拠法令】男女共同参画条例	18歳以上の市民(住民基本台帳データから抽出)	2,000人	対象者へ調査票を郵送し、回答された調査票を郵送により回収する。 回収率の向上を図るため、調査期間中に回答依頼のはがきを郵送する。	本調査に基づく報告書を次期の男女共同参画基本計画(令和5年度～9年度)の策定にあたっての基礎資料とするとともに、啓発等を行う際の資料(根拠データ)として活用する。	市民のニーズを的確に把握し、これまでの施策を検証することにより効果的な基本計画の策定、事業の実施が期待でき、ひいては、男女共同参画社会の推進が期待できる。	高	
4	男女共同参画啓発・支援事業	市民や市内企業等に対して、男女共同参画意識の高揚を図る。 【根拠法令】男女共同参画条例	市民、市内事業者等	100,000人	①男女共同参画啓発冊子作成事業 ・啓発冊子を作成し、広報に折り込み全戸(市内企業等も含む)に配布。出前講座やその他研修会等での啓発活動に活用。 ②市民が男女共同参画に関する研修に参加するために要する費用を補助する。	①本市における男女共同参画の意識が高揚し、市内企業や地域等において、女性活躍の推進やワーク・ライフ・バランスの充実(働き方改革)の推進を促す。 ②男女共同参画に関する学びを深めることで、男女共同参画意識の向上、活動の活性化が図られる。	男女が自己の個性や能力を発揮し、ともに社会に参画できる環境づくりが推進されることが期待できる。	中	
5	DV防止啓発・被害者相談支援事業	ドメスティック・バイオレンス及びセクシュアル・ハラスメント等を防止するとともに、被害者の支援を行う。 【根拠法令】男女共同参画条例	市民、市内事業者等 DV等被害者	100,000人	DV等の相談窓口の設置(ちくし女性ホットライン事業や男女平等推進センターの相談事業)、DV相談支援員による設置により、被害者の相談対応・支援を実施。 中学校データDV防止研修などDV防止の啓発活動を行う。	DV等に対する知識、理解を深めることで、DVの防止する。 また、被害を受けた場合の相談・支援を早期に行うことで、被害者の心身の回復を図り、生活再建を支援する。	DV等の人権侵害を防止することで、誰もが、身体的・精神的暴力の被害を受けることなく、安心して暮らせる社会づくりが推進されることが期待できる。	高	
6	男女共同参画苦情処理制度運営事業	市が実施する共同参画施策又は男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策若しくは措置及びそれらに関わる職員の行為についての苦情に適切に対応する。 【根拠法令】男女共同参画条例	苦情処理委員	3人	市民等からの申し出があった場合、人権男女共同参画課が事務局として、委員への連絡・調整を行う。必要に応じて、会議開催の事務を行う。委員の調査結果をまとめ、市長へ報告するとともに処理結果を公表する。	市が実施する施策や職員の行為についての苦情へ適切に対処することで、男女共同参画の推進が阻害されることを防止する。また、委員からの勧告や意見表明を受け、市の施策や事業、職員の行為が改善されることで、男女共同参画の推進が図られる。	男女が自己の個性や能力を発揮し、ともに社会に参画できる環境づくりが推進されることが期待できる。	中	
7	男女共同参画基本計画・実施計画進捗管理業務他	【根拠法令】男女共同参画条例							

別紙2_小施策構成事務事業各概要

別紙2_小施策構成事務事業各概要		小施策名		男女共同参画社会の実現								
事業番号	事務事業名	目標を踏まえた現状と課題		目標達成に向けた今年度以降の方向性		優先順位		備考				
		現時点の成果達成状況		現時点の課題		今後の方向性			貢献度×進捗度×方向性			
		達成度(達成、未達成)	【現時点ではどのような成果が得られているか(左記の当初期待される効果及び当初は期待していなかった効果の発現状況)】	【期待される成果をあげるため(小施策の目標達成に貢献するため)に必要なことは何か】	【増減理由、期待される成果など】	【拡充、維持、縮小、終了、廃止】	【拡充、維持、縮小、終了、廃止】					
1	男女共同参画審議会運営事業	達成	第3次の「男女共同参画基本計画」の進捗に対し、審議会から有益な意見や助言がなされ、事業の改善に貢献いただいている。	委員の改選年度ではないものの、委員の変更があるため、新たに就任する委員への事前説明を行い、委員間の知識・情報差を補う必要がある。	維持	維持	維持	令和3年度は、男女共同参画市民意識調査を実施する予定であり、調査項目、質問内容について委員から意見・助言を反映する予定である。より充実した審議をしていただくため、分かりやすい資料作りと早めの送付に努めたい。	25	5		
2	男女平等推進センター連携事業	達成	男女平等推進センターでは、これまでの事業実施の経験や林田館長の人脈を活用した効果的な講座等が企画運営されている。市との情報交換・共有も定期的に行い、事業のモニタリングも実施している。	講座や講演会への参加者やセンターで活動する団体に、固定化の傾向が見られるため、新たな参加者、利用者等を増やし、活性化する必要がある。	拡充	維持	拡充	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座や講演会の開催に新たな工夫が必要となっている。安全で効果的な事業の企画・運営に市としても関わっていく必要がある。	50	3		
3	男女共同参画市民意識調査事業	未達成	令和3年度に実施予定	調査票の回収率向上のため、質問数や内容を精査する必要がある。	拡充	維持	拡充	調査結果を十分分析し、他自治体との比較やこれまでの取り組みの検証を行い、次期基本計画の策定につなげたい。	100	1		
4	男女共同参画啓発・支援事業	達成	令和元年度から男女共同参画に関する啓発冊子を作成しており、読者から意見も取り入れながら、読みやすく、充実した内容となるよう努めている。アンケートではおおむね好評な意見をいただいている。	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民の全国規模の男女共同参画研修への参加が困難となっている。オンライン参加型の研修参加など感染防止に配慮した研修・啓発機会の提供に努める必要がある。	拡充	維持	拡充	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座や講演会の開催が困難となった場合、安全な啓発方法として啓発冊子の拡充は重要と考える。多くの方にしっかりと読んでもらえるよう内容と創意工夫を行いたい。	38	4		
5	DV防止啓発・被害者相談支援事業	未達成	DV等については、正しい知識を持つことが重要であり、中学生を対象とした研修・啓発に力を入れている。また、より適切な相談対応を行うため、各相談窓口と連携した対応を実施している。	新型コロナウイルス感染症の影響により、DV等の被害の増加、深刻化が懸念される。相談窓口の周知徹底を図り、被害者の早期支援へ繋げる必要がある。	拡充	拡充	拡充	DV等の増加、深刻化への対応は喫緊の課題であり、被害者の命と健康を守ることを最優先に取り組みたい。また、誰も被害者にも加害者にもならないよう発生防止の啓発にも注力していきたい。	100	1		
6	男女共同参画苦情処理制度運営事業	達成	令和2年度に2件の苦情処理申出があり、苦情処理委員ともに申出者からの聴き取り調査等をいねいに行なった。調査結果に基づく委員の考えや意見を意見書としてまとめ、是正勧告には至らなかったものの、改善を促す意見表明が行われた。	苦情処理の申出案件が少ないことから、事務の進め方のノウハウが蓄積されていないため、事務局事務に多くの時間を要している。丁寧かつ効率的な事務処理フローを作成する必要がある。	維持	維持	維持	意図せず行なった市の施策や市職員の行為が男女共同参画の推進を阻害することのないよう、職員一人ひとりの意識を高めておくことが苦情発生防止につながると考える。	25	5		
7	男女共同参画基本計画・実施計画進捗管理業務他	達成										

別紙3 事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	男女共同参画社会の実現	
事務事業名	事業1	男女共同参画審議会運営事業
所管部署	人権男女共同参画課	
目的	男女共同参画施策・事業について、審議会から意見や助言を受け、男女共同参画基本計画の事業を総合的かつ計画的に推進する。 【根拠法令】男女共同参画条例	
対象	男女共同参画審議会委員	
対象者数	10人	
手段	人権男女共同参画課が事務局として、委員の日程調整及び審議事項の集約をし、審議会を開催する。開催後、審議結果を報告するとともに、審議会意見を計画や事業内容に反映させるため、関係各課へのフィードバックを行う。	
期待される成果	「人権教育・啓発基本指針及び実施計画」の内容充実や進捗状況確認を客観的に行い、事業の改善につなげることが期待できる。	
委託などの状況		

2. 成果の状況(アウトプット、アウトカム)

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	審議会の開催回数 (R04は基本計画策定のため 審議会開催数を多く予定)	回	3	3	3	3	7	3
				3	2			
活動指標②								
成果指標①	審議会からの意見・助言数 (R04は基本計画策定のため 審議会開催数を多く予定)	件	20	20	20	20	40	20
				14	17			
成果指標②								
上記指標に表れない成果等								

3. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和元年度実績(決算)	令和2年度見込(決算見込)	令和3年度計画(予算)
ヒト	正規職員業務量		0時間	102時間
	会計年度任用職員等業務量		0時間	0時間
	業務量計	0時間	0時間	102時間
	人件費	0千円	0千円	642千円
カネ	事業費	170千円	158千円	178千円
	人件費	0千円	0千円	642千円
	コスト計	170千円	158千円	820千円
	特定財源	0千円	0千円	0千円
	一般財源	170千円	158千円	820千円

4. 単位当たりコスト

	単位	計算式 上段:コスト、下段:指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			コスト /対象者数	円/人	コスト計 のべ対象者数	5,667	7,900
コスト /活動指標①	円/回	コスト計 審議会の開催回数 (R04は基本計画策定のため 審議会開催数を多く予定)	56,667	79,000			
コスト /活動指標②	0	コスト計	0				
コスト /成果指標①	円/件	コスト計 審議会からの意見・助言数 (R04は基本計画策定のため 審議会開催数を多く予定)	12,143	9,294			
コスト /成果指標②	0	コスト計	0				

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク	令和2年度見込(決算見込)							令和3年度計画(予算)							備考(増減理由等)
		正規職員			会計年度任用職員等				正規職員			会計年度任用職員等				
		計	係長	担当	計	再任用PM	再任用	会計年度	計	係長	担当	計	再任用PM	再任用	会計年度	
	計	0	0	0	0	0	0	0	102	0	102	0	0	0	0	
1	男女共同参画審議会運営事業	0			0				102		102					
2		0			0				0							
3		0			0				0							
4		0			0				0							
5		0			0				0							
6		0			0				0							
7		0			0				0							
8		0			0				0							
9		0			0				0							
10		0			0				0							
11		0			0				0							
12		0			0				0							
13		0			0				0							
14		0			0				0							
15		0			0				0							

別紙3 事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	男女共同参画社会の実現
事務事業名	事業2 男女平等推進センター連携事業
所管部署	人権男女共同参画課
目的	大野城まどかぴあ男女平等推進センターは、市の男女共同参画施策の具体的な事業を実施するための施設として設置され、指定管理による運営されている。各事業を効果的・効率的に実施するため連携を行う。 【根拠法令】男女共同参画条例
対象	大野城まどかぴあ(男女平等推進センター)職員 人権男女共同参画課職員
対象者数	24,013人
手段	大野城まどかぴあ男女平等推進センターへの指定管理者交付金の交付 男女平等推進センター事業のモニタリング 市と男女平等推進センターとの定例会議による情報交換、意見交換
期待される成果	男女共同参画に対する市民意識向上のための啓発や女性の政策・方針決定過程への参画拡大など女性の活躍推進を支援する事業の着実な実施。
委託などの状況	

2. 成果の状況(アウトプット、アウトカム)

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	男女平等推進センター事業参加者数	人		24,000	24,000	24,000	24,000	次期基本計画で設定
活動指標②				22,808	8,151			
成果指標①	男女平等推進センター事業の満足度	%	80	80	80	80	80	80
成果指標②				96.3	91.9			
上記指標に表れない成果等								

3. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和元年度実績(決算)	令和2年度見込(決算見込)	令和3年度計画(予算)
ヒト	正規職員業務量		0時間	303時間
	会計年度任用職員等業務量		0時間	107時間
	業務量計	0時間	0時間	410時間
	人件費	0千円	0千円	2,572千円
カネ	事業費	6,834千円	6,868千円	6,216千円
	人件費	0千円	0千円	2,572千円
	コスト計	6,834千円	6,868千円	8,788千円
	特定財源	3,368千円	3,434千円	0千円
	一般財源	3,466千円	3,434千円	8,788千円

4. 単位当たりコスト

	単位	計算式 上段:コスト、下段:指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			コスト/対象者数	円/人	285	286	366
コスト/活動指標①	円/人	男女平等推進センター事業参加者数	300	843			
コスト/活動指標②	0	0					
コスト/成果指標①	円/%	男女平等推進センター事業の満足度	70,966	74,733			
コスト/成果指標②	0	0					

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク	令和2年度見込(決算見込)							令和3年度計画(予算)							備考(増減理由等)
		正規職員			会計年度任用職員等				正規職員			会計年度任用職員等				
		計	係長	担当	計	再任用PM	再任用	会計年度	計	係長	担当	計	再任用PM	再任用	会計年度	
	計	0	0	0	0	0	0	0	303	0	303	107	0	0	107	
1	アスカ-ラ連携事業(男女共同参画基本計画1~4)	0			0				200		200	73			73	
2	アスカ-ラ連携事業(男女共同参画基本計画5~8)	0			0				103		103	34			34	
3		0			0				0			0				
4		0			0				0			0				
5		0			0				0			0				
6		0			0				0			0				
7		0			0				0			0				
8		0			0				0			0				
9		0			0				0			0				
10		0			0				0			0				
11		0			0				0			0				
12		0			0				0			0				
13		0			0				0			0				
14		0			0				0			0				
15		0			0				0			0				

別紙3 事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	男女共同参画社会の実現
事務事業名	事業3 男女共同参画市民意識調査事業
所管部署	人権男女共同参画課
目的	男女共同参画に関する市民の意識やニーズを正しく把握し、男女共同参画に関する施策をより効果的に推進していくための基礎資料とする。次期の男女共同参画基本計画策定年度の前年度に実施することで、実効性のある計画策定を行う。 【根拠法令】男女共同参画条例
対象	18歳以上の市民(住民基本台帳データから抽出)
対象者数	2,000人
手段	対象者へ調査票を郵送し、回答された調査票を郵送により回収する。回収率の向上を図るため、調査期間中に回答依頼のはがきを郵送する。
期待される成果	本調査に基づく報告書を次期の男女共同参画基本計画(令和5年度～9年度)の策定にあたっての基礎資料とするとともに、啓発等を行う際の資料(根拠データ)として活用する。
委託などの状況	

2. 成果の状況(アウトプット、アウトカム)

指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標① 男女共同参画市民意識調査票送付数	通				2,000		
活動指標②							
成果指標① 男女共同参画市民意識調査票回答率	%				55		
成果指標②							
上記指標に表れない成果等							

3. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和元年度実績(決算)	令和2年度見込(決算見込)	令和3年度計画(予算)
ヒト	正規職員業務量		0時間	223時間
	会計年度任用職員等業務量		0時間	67時間
	業務量計	0時間	0時間	290時間
	人件費	0千円	0千円	1,818千円
カネ	事業費	0千円	0千円	576千円
	人件費	0千円	0千円	1,818千円
	コスト計	0千円	0千円	2,394千円
	特定財源	0千円	0千円	0千円
	一般財源	0千円	0千円	2,394千円

4. 単位当たりコスト

コスト	単位	計算式 上段:コスト、下段:指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			コスト/対象者数	円/人	0	0	1,197
コスト/活動指標①	円/通	コスト計 男女共同参画市民意識調査票送付数					
コスト/活動指標②	0	コスト計 0					
コスト/成果指標①	円/%	コスト計 男女共同参画市民意識調査票回答率					
コスト/成果指標②	0	コスト計 0					

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク	令和2年度見込(決算見込)						令和3年度計画(予算)						備考(増減理由等)		
		正規職員			会計年度任用職員等			正規職員			会計年度任用職員等					
		計	係長	担当	計	再任用PM	再任用	会計年度	計	係長	担当	計	再任用PM		再任用	会計年度
	計	0	0	0	0	0	0	0	223	0	223	67	0	0	67	
1	男女共同参画基本計画・実施計画策定・進捗管理業務(市民意識調査分)	0			0				223		223	67			67	
2		0			0				0			0				
3		0			0				0			0				
4		0			0				0			0				
5		0			0				0			0				
6		0			0				0			0				
7		0			0				0			0				
8		0			0				0			0				
9		0			0				0			0				
10		0			0				0			0				
11		0			0				0			0				
12		0			0				0			0				
13		0			0				0			0				
14		0			0				0			0				
15		0			0				0			0				

別紙3 事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	男女共同参画社会の実現
事務事業名	事業4 男女共同参画啓発・支援事業
所管部署	人権男女共同参画課
目的	市民や市内企業等に対して、男女共同参画意識の高揚を図る。 【根拠法令】男女共同参画条例
対象	市民、市内事業者等
対象者数	100,000人
手段	①男女共同参画啓発冊子作成事業 ・啓発冊子を作成し、広報に折り込み全戸(市内企業等も含む)に配布。出前講座やその他研修会等での啓発活動に活用。 ②市民が男女共同参画に関する研修に参加するために要する費用を補助する。
期待される成果	①本市における男女共同参画の意識が高揚し、市内企業や地域等において、女性活躍の推進やワーク・ライフ・バランスの充実(働き方改革)の推進を促す。 ②男女共同参画に関する学びを深めることで、男女共同参画意識の向上、活動の活発化が図られる。
委託などの状況	

2. 成果の状況(アウトプット、アウトカム)

指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標① ①啓発冊子の発行部数	冊	/	45,100	45,800	市内世帯数より算出	市内世帯数より算出	市内世帯数より算出
			45,100	45,800			
活動指標② ②男女共同参画研修参加助成者数	人	/	2	2	2	2	2
			-	-			
成果指標① ①「男女共同参画意識が高まった」と回答した人の割合	%	95	70	85	95	95	95
			82	94			
成果指標② ②研修受講に対する満足度の割合	%	100	100	100	100	100	100
			-	-			
上記指標に表れない成果等	①R01年度は開催地が災害被災で中止。R02年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣中止。 ②研修受講者の男女共同参画活動の活性化や、審議会の委員を務めるなど政策・意思決定の場への参画など、意欲向上が行動変化につながっている。						

3. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和元年度実績(決算)	令和2年度見込(決算見込)	令和3年度計画(予算)
ヒト	正規職員業務量		0時間	169時間
	会計年度任用職員等業務量		0時間	51時間
	業務量計	0時間	0時間	220時間
	人件費	0千円	0千円	1,382千円
カネ	事業費	695千円	648千円	588千円
	人件費	0千円	0千円	1,382千円
	コスト計	695千円	648千円	1,970千円
	特定財源	0千円	0千円	0千円
	一般財源	695千円	648千円	1,970千円

4. 単位当たりコスト

項目	単位	計算式 上段:コスト、下段:指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
コスト /対象者数	円/人	コスト計	7	6	20		
		対象者数					
コスト /活動指標①	円/冊	啓発冊子作成・配布のコスト計	15	12			
		①啓発冊子の発行部数					
コスト /活動指標②	円/人	男女共同参画研修参加助成事業のコスト計					
		②男女共同参画研修参加助成者数					
コスト /成果指標①	円/%	啓発冊子作成・配布のコスト計	8	7			
		①「男女共同参画意識が高まった」と回答した人の割合					
コスト /成果指標②	円/%	男女共同参画研修参加助成事業のコスト計					
		②研修受講に対する満足度の割合					

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク	令和2年度見込(決算見込)						令和3年度計画(予算)						備考(増減理由等)		
		正規職員			会計年度任用職員等			正規職員			会計年度任用職員等					
		計	係長	担当	計	再任用PM	再任用	会計年度	計	係長	担当	計	再任用PM		再任用	会計年度
	計	0	0	0	0	0	0	0	169	0	169	51	0	0	51	
1	男女共同参画啓発冊子作成事業	0			0				118		118	51			51	
2	男女共同参画研修会参加(派遣)事業	0			0				51		51	0				
3		0			0				0			0				
4		0			0				0			0				
5		0			0				0			0				
6		0			0				0			0				
7		0			0				0			0				
8		0			0				0			0				
9		0			0				0			0				
10		0			0				0			0				
11		0			0				0			0				
12		0			0				0			0				
13		0			0				0			0				
14		0			0				0			0				
15		0			0				0			0				

別紙3 事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	男女共同参画社会の実現	
事務事業名	事業5	DV防止啓発・被害者相談支援事業
所管部署	人権男女共同参画課	
目的	ドメスティック・バイオレンス及びセクシュアル・ハラスメント等を防止するとともに、被害者の支援を行う。 【根拠法令】男女共同参画条例	
対象	市民、市内事業者等 DV等被害者	
対象者数	100,000人	
手段	DV等の相談窓口の設置(ちくし女性ホットライン事業や男女平等推進センターの相談事業)、DV相談支援員による設置により、被害者の相談対応・支援を実施。 中学校デートDV防止研修などDV防止の啓発活動を行う。	
期待される成果	DV等に対する知識、理解を深めることで、DVの防止する。 また、被害を受けた場合の相談・支援を早期に行うことで、被害者の心身の回復を図り、生活再建を支援する。	
委託などの状況	ちくし女性ホットライン業務委託 中学生向けデートDV防止研修業務委託	

2. 成果の状況(アウトプット、アウトカム)

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	中学校デートDV防止研修受講者数	人	/	916	937	969	市内中学校2年生の人数	市内中学校2年生の人数
				839	938			
活動指標②			/					
成果指標①	中学校デートDV防止研修研修が役立つと回答した生徒割合	%	90	90	90	90	90	90
				85	86			
成果指標②								
上記指標に表れない成果等								

3. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和元年度実績(決算)	令和2年度見込(決算見込)	令和3年度計画(予算)
ヒト	正規職員業務量	/	0時間	237時間
	会計年度任用職員等業務量	/	0時間	806時間
	業務量計	0時間	0時間	1,043時間
	人件費	0千円	0千円	6,548千円
カネ	事業費	977千円	881千円	3,527千円
	人件費	0千円	0千円	6,548千円
	コスト計	977千円	881千円	10,075千円
	特定財源	0千円	0千円	820千円
	一般財源	977千円	881千円	9,255千円

4. 単位当たりコスト

	単位	計算式 上段:コスト、下段:指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			コスト/対象者数	円/人	10	9	101
コスト/活動指標①	円/人	中学校デートDV防止研修のコスト計	197	65			
		中学校デートDV防止研修受講者数					
コスト/活動指標②	0	コスト計	0				
コスト/成果指標①	円/%	中学校デートDV防止研修のコスト計	1,941	709			
		中学校デートDV防止研修研修が役立つと回答した生徒割合					
コスト/成果指標②	0	コスト計	0				

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク	令和2年度見込(決算見込)							令和3年度計画(予算)							備考(増減理由等)
		正規職員			会計年度任用職員等				正規職員			会計年度任用職員等				
		計	係長	担当	計	再任用PM	再任用	会計年度	計	係長	担当	計	再任用PM	再任用	会計年度	
	計	0	0	0	0	0	0	0	237	0	237	806	0	0	806	
1	ちくし女性ホットライン運営事業	0			0				24		24	31			31	
2	DV防止啓発事業	0			0				28		28	58			58	
3	DV被害者相談支援事業	0			0				161		161	652			652	
4	中学生向けデートDV防止研修実施事業	0			0				24		24	66			66	
5		0			0				0		0	0			0	
6		0			0				0		0	0			0	
7		0			0				0		0	0			0	
8		0			0				0		0	0			0	
9		0			0				0		0	0			0	
10		0			0				0		0	0			0	
11		0			0				0		0	0			0	
12		0			0				0		0	0			0	
13		0			0				0		0	0			0	
14		0			0				0		0	0			0	
15		0			0				0		0	0			0	

別紙3 事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	男女共同参画社会の実現
事務事業名	事業6 男女共同参画苦情処理制度運営事業
所管部署	人権男女共同参画課
目的	市が実施する共同参画施策又は男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策若しくは措置及びそれらに関わる職員の行為についての苦情に適切に対応する。 【根拠法令】男女共同参画条例
対象	苦情処理委員
対象者数	3人
手段	市民等からの申し出があった場合、人権男女共同参画課が事務局として、委員への連絡・調整を行う。必要に応じて、会議開催の事務を行う。委員の調査結果をまとめ、市長へ報告するとともに処理結果を公表する。
期待される成果	市が実施する施策や職員の行為についての苦情へ適切に対処することで、男女共同参画の推進が阻害されることを防止する。また、委員からの勧告や意見表明を受け、市の施策や事業、職員の行為が改善されることで、男女共同参画の推進が図られる。
委託などの状況	

2. 成果の状況(アウトプット、アウトカム)

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①	苦情処理委員会議の開催	回		1	4			
活動指標②								
成果指標①	苦情処理申出に対する対応率	%	100	100	100	100	100	100
成果指標②				-	100			
上記指標に表れない成果等								

3. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和元年度実績(決算)	令和2年度見込(決算見込)	令和3年度計画(予算)
ヒト	正規職員業務量		0時間	303時間
	会計年度任用職員等業務量		0時間	0時間
	業務量計	0時間	0時間	303時間
	人件費	0千円	0千円	1,903千円
カネ	事業費	53千円	210千円	53千円
	人件費	0千円	0千円	1,903千円
	コスト計	53千円	210千円	1,956千円
	特定財源	0千円	0千円	0千円
	一般財源	53千円	210千円	1,956千円

4. 単位当たりコスト

	単位	計算式 上段:コスト、下段:指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			コスト/対象者数	円/人	17,667	70,000	651,907
コスト/活動指標①	円/回	コスト計 苦情処理委員会議の開催	53,000	52,500			
コスト/活動指標②	0	コスト計 0					
コスト/成果指標①	円/%	コスト計 苦情処理申出に対する対応率		2,100			
コスト/成果指標②	0	コスト計 0					

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク	令和2年度見込(決算見込)							令和3年度計画(予算)							備考(増減理由等)
		正規職員			会計年度任用職員等				正規職員			会計年度任用職員等				
		計	係長	担当	計	再任用PM	再任用	会計年度	計	係長	担当	計	再任用PM	再任用	会計年度	
	計	0	0	0	0	0	0	0	303	0	303	0	0	0	0	
1	男女共同参画苦情処理制度運営事業	0			0				303		303	0				
2		0			0				0			0				
3		0			0				0			0				
4		0			0				0			0				
5		0			0				0			0				
6		0			0				0			0				
7		0			0				0			0				
8		0			0				0			0				
9		0			0				0			0				
10		0			0				0			0				
11		0			0				0			0				
12		0			0				0			0				
13		0			0				0			0				
14		0			0				0			0				
15		0			0				0			0				

別紙3_事務事業詳細評価シート

1. 事業概要

小施策名	男女共同参画社会の実現	
事務事業名	事業7	男女共同参画基本計画・実施計画進捗管理業務他
所管部署	人権男女共同参画課	
目的	【根拠法令】男女共同参画条例	
対象		
対象者数		
手段		
期待される成果		
委託などの状況		

2. 成果の状況(アウトプット、アウトカム)

	指標名	単位	目標値	上段:目標値 下段:実績値				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標①								
活動指標②								
成果指標①								
成果指標②								
上記指標に表れない成果等								

3. 経営資源配分(投入)の状況(インプット)

(単位:時間、千円)

		令和元年度実績(決算)	令和2年度見込(決算見込)	令和3年度計画(予算)
ヒト	正規職員業務量		0時間	33時間
	会計年度任用職員等業務量		0時間	0時間
	業務量計	0時間	0時間	33時間
	人件費	0千円	0千円	207千円
カネ	事業費			
	人件費	0千円	0千円	207千円
	コスト計	0千円	0千円	207千円
	特定財源			
	一般財源	0千円	0千円	207千円

4. 単位当たりコスト

	単位	計算式 上段:コスト、下段:指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			コスト /対象者数	円/人			
コスト /活動指標①	0	コスト計 対象者数	0				
コスト /活動指標②	0	コスト計	0				
コスト /成果指標①	0	コスト計	0				
コスト /成果指標②	0	コスト計	0				

3-1. 業務量調査

(単位:時間)

番号	メインタスク	令和2年度見込(決算見込)							令和3年度計画(予算)							備考(増減理由等)
		正規職員			会計年度任用職員等				正規職員			会計年度任用職員等				
		計	係長	担当	計	再任用PM	再任用	会計年度	計	係長	担当	計	再任用PM	再任用	会計年度	
	計	0	0	0	0	0	0	0	33	0	33	0	0	0	0	
1	人権政策基本指針・実施計画策定・進捗管理業務	0			0				33		33	0				
2		0			0				0			0				
3		0			0				0			0				
4		0			0				0			0				
5		0			0				0			0				
6		0			0				0			0				
7		0			0				0			0				
8		0			0				0			0				
9		0			0				0			0				
10		0			0				0			0				
11		0			0				0			0				
12		0			0				0			0				
13		0			0				0			0				
14		0			0				0			0				
15		0			0				0			0				